

2019年12月期 第3四半期 プレゼンテーション

ルネサス エレクトロニクス株式会社
2019年11月7日

2019年 第3四半期 決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標(以下Non-GAAPベース)を資料上開示しております。

Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値(GAAP : IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

注意事項

- **IFRS適用**：今後もグローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。
- **業績予想の開示方法**：2019年12月第1四半期の業績予想から、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更することに加え、当社グループの恒常的な経営成績の理解を促進する有用な情報を提供するために、財務会計上の数値(GAAP)から企業買収などに関係した非経常項目やその他特定の調整項目を一過性の利益や損失として一定のルールに基づいて控除もしくは調整した「Non-GAAPベース」にて売上収益・売上総利益率・売上営業利益率を開示することといたしました。なお、売上総利益率および売上営業利益率は、売上収益予想の中間値により算出しております。
- **セグメント開示**：当社グループは、半導体専門メーカーであります。その事業を分類してより適切に経営情報の開示を行うため、当第3四半期より「自動車向け事業」および「産業・インフラ・IoT向け事業」を報告セグメントとしてのセグメント別の開示を行います。
- **取得原価の配分**：当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIntegrated Device Technology, Inc.(以下IDT)との企業結合について、取得原価の配分(PPA)の見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値は取得原価の配分の見直しの内容を反映させております。

2019年12月期 第3四半期決算概要

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

売上収益の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期								
	第3四半期 (7-9月)	9か月累計 (1-9月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月) 予想	第3四半期 (7-9月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比*3 (8/6時点)	9か月累計 (1-9月) 実績	前年同期比	予想比*3 (8/6時点)
売上収益	1,799	5,688	1,926	1,840 ~1,920	1,834	+1.9%	-4.8%	-2.5%	5,262	-7.5%	-0.9%
売上総利益率	43.9%	45.4%	44.8%	45.0%	45.0%	+1.1pts	+0.1pt	-	43.3%	-2.1pts	-
営業損益(率)	215 (12.0%)	846 (14.9%)	274 (14.2%)	311 (16.5%)	269 (14.7%)	+54 (+2.7pts)	-5 (+0.5pt)	-42 (-1.9pts)	615 (11.7%)	-231 (-3.2pts)	-42 (-0.7pt)
当期損益	198	763	258	-	225	+27	-33	-	549	-214	-
EBITDA*4	455	1,563	532	-	518	+62	-14	-	1,373	-191	-
1米ドル=	111円	110円	111円	108円	108円	3円 円高	3円 円高	0円 円高	110円	-	0円 円高
1ユーロ=	129円	131円	125円	121円	121円	8円 円高	4円 円高	1円 円高	124円	8円 円高	0円 円高

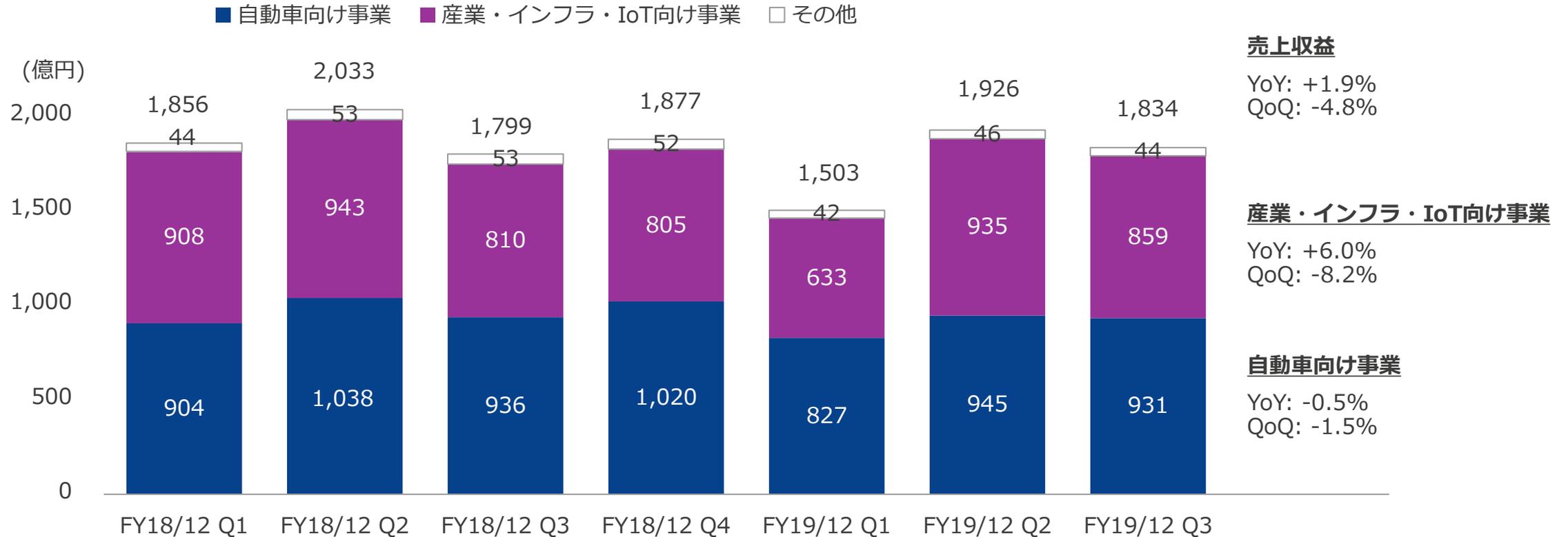
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比 *4: 営業損益+減価償却費及び償却費

売上収益 四半期推移

IFRS、NON-GAAP*1*2



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

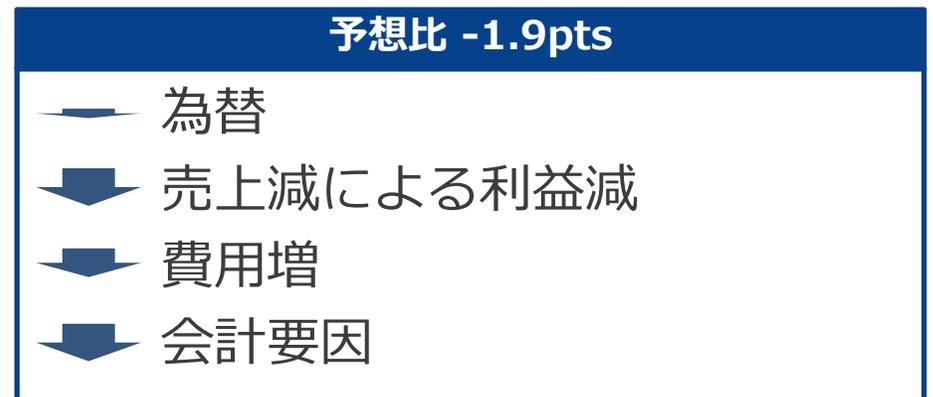
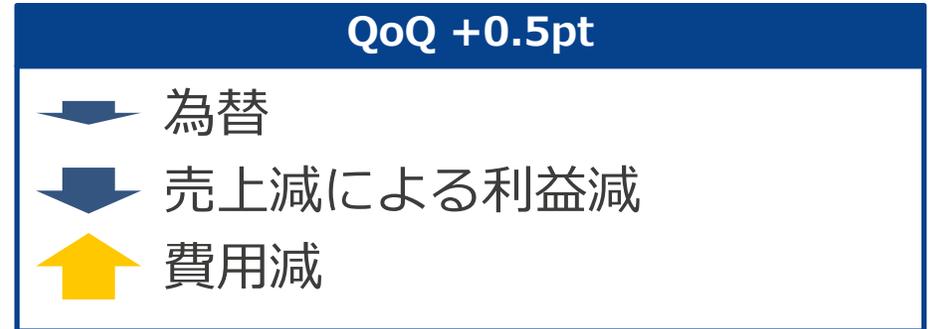
*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

2019年12月期 第3四半期 営業利益率

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

2018年12月期 第3四半期 実績 (2018年7-9月)	2019年12月期 第2四半期 実績 (2019年4-6月)	2019年12月期 第3四半期 予想 (2019年7-9月)	2019年12月期 第3四半期 実績 (2019年7-9月)
12.0%	14.2%	16.5%	14.7%

YoY: +2.7pts
QoQ: +0.5pt
予想比: -1.9pts



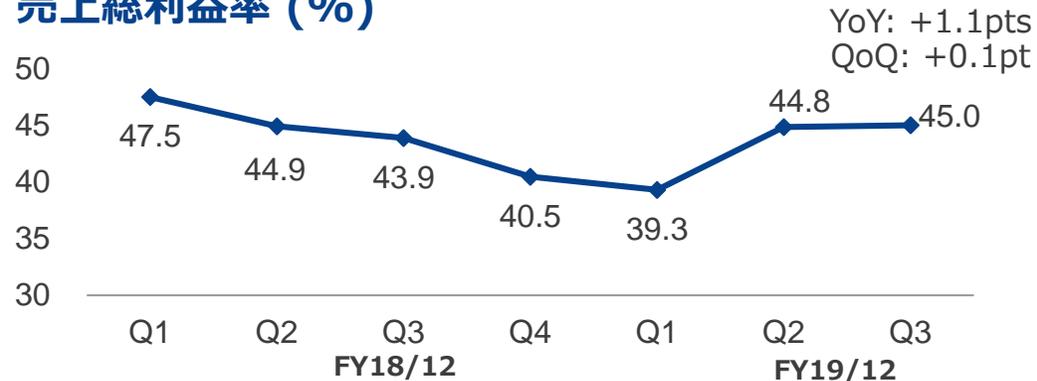
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

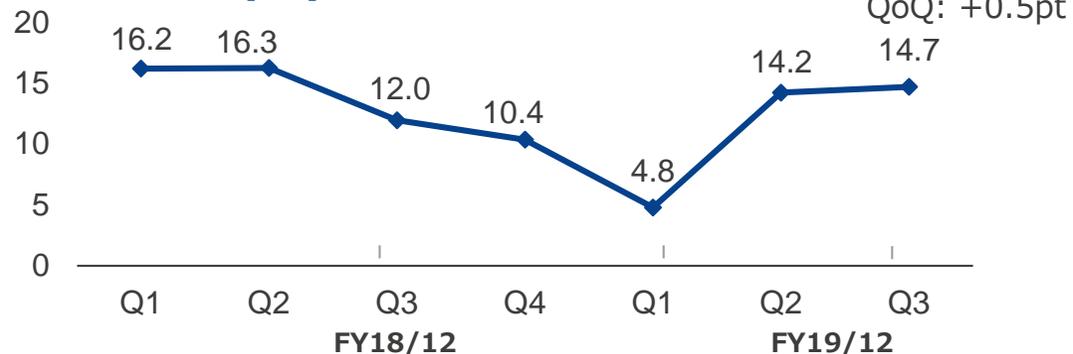
売上総利益率・営業利益率・OPEX推移

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

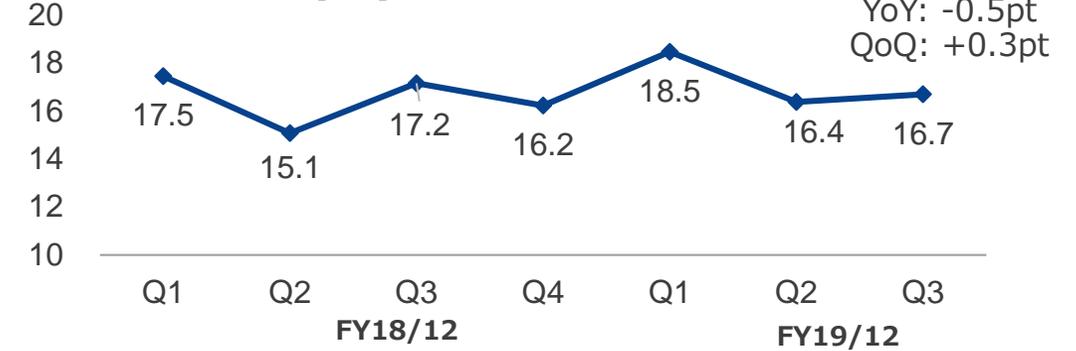
売上総利益率 (%)



営業利益率 (%)



R&D売上比率 (%)



SG&A・その他売上比率 (%)

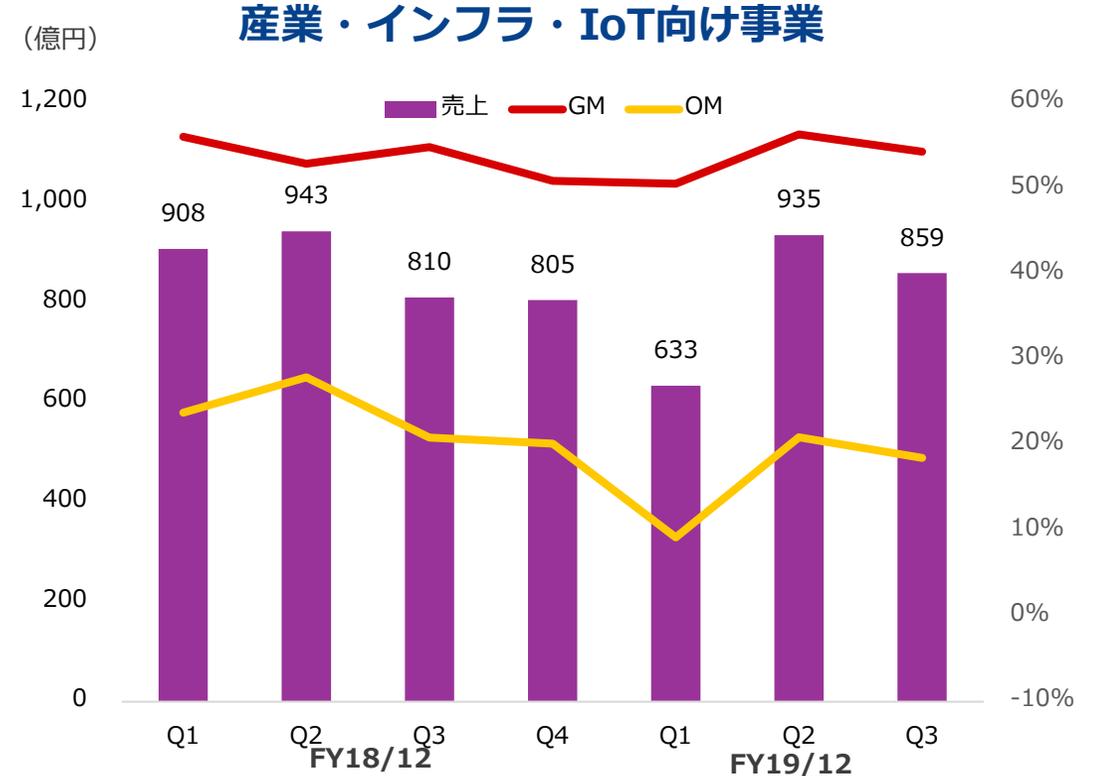
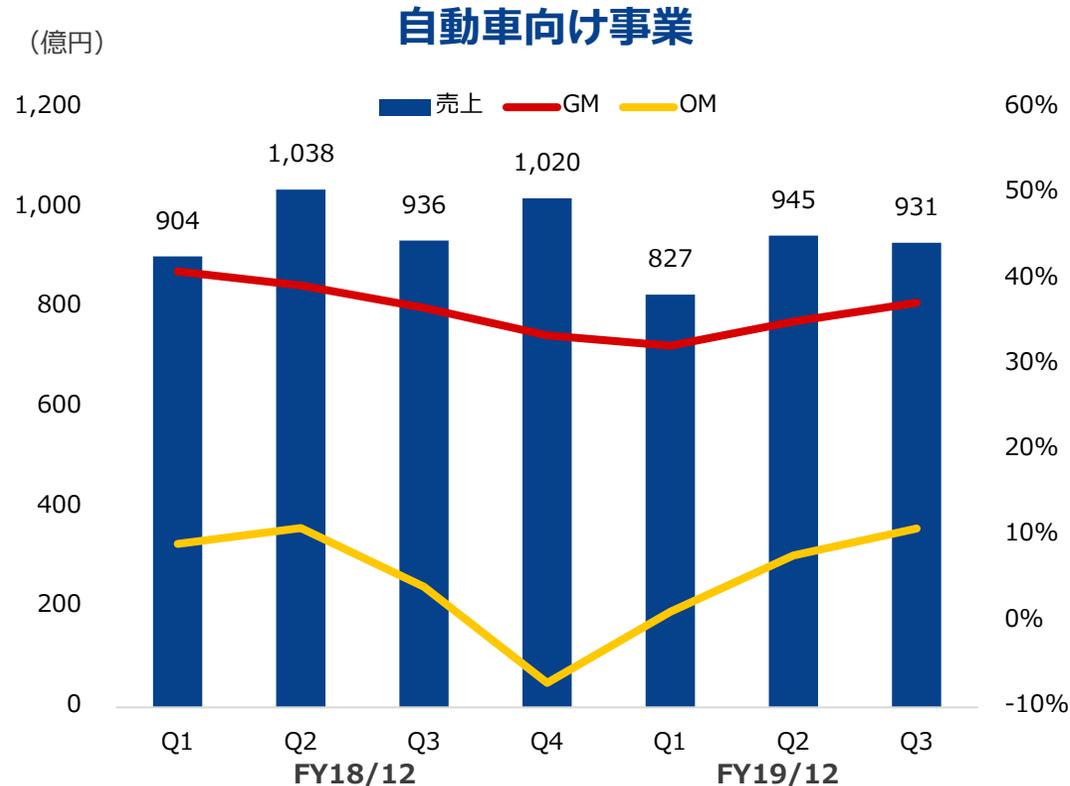


*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

セグメント別の売上・利益四半期推移

IFRS、NON-GAAP*1*2



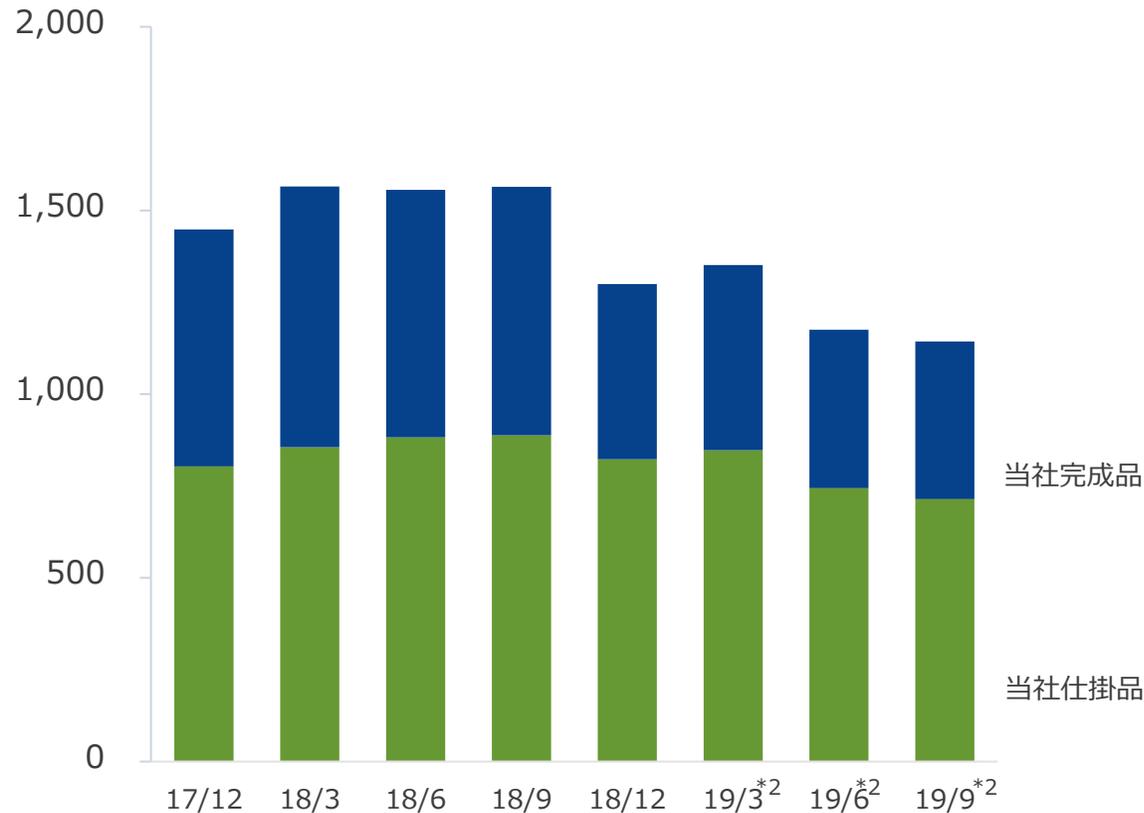
*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象になっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

在庫状況

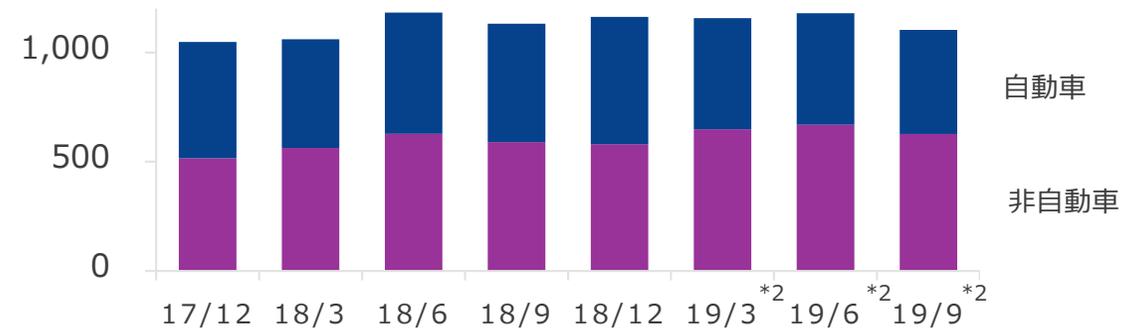
管理会計ベース、億円

当社在庫推移 (仕掛品 + 完成品)

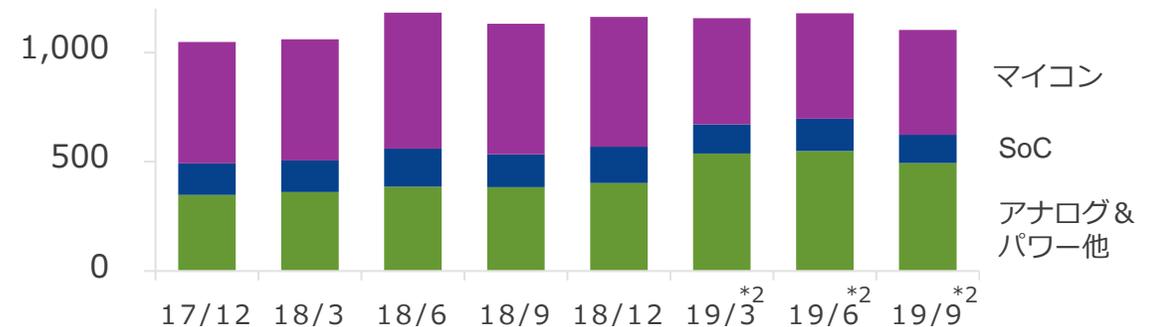


*1: 日系顧客向けの特約店16社と海外のディストリビューター (旧インターシル、旧IDT分含む) の在庫総量
*2: IDT連結後の数値

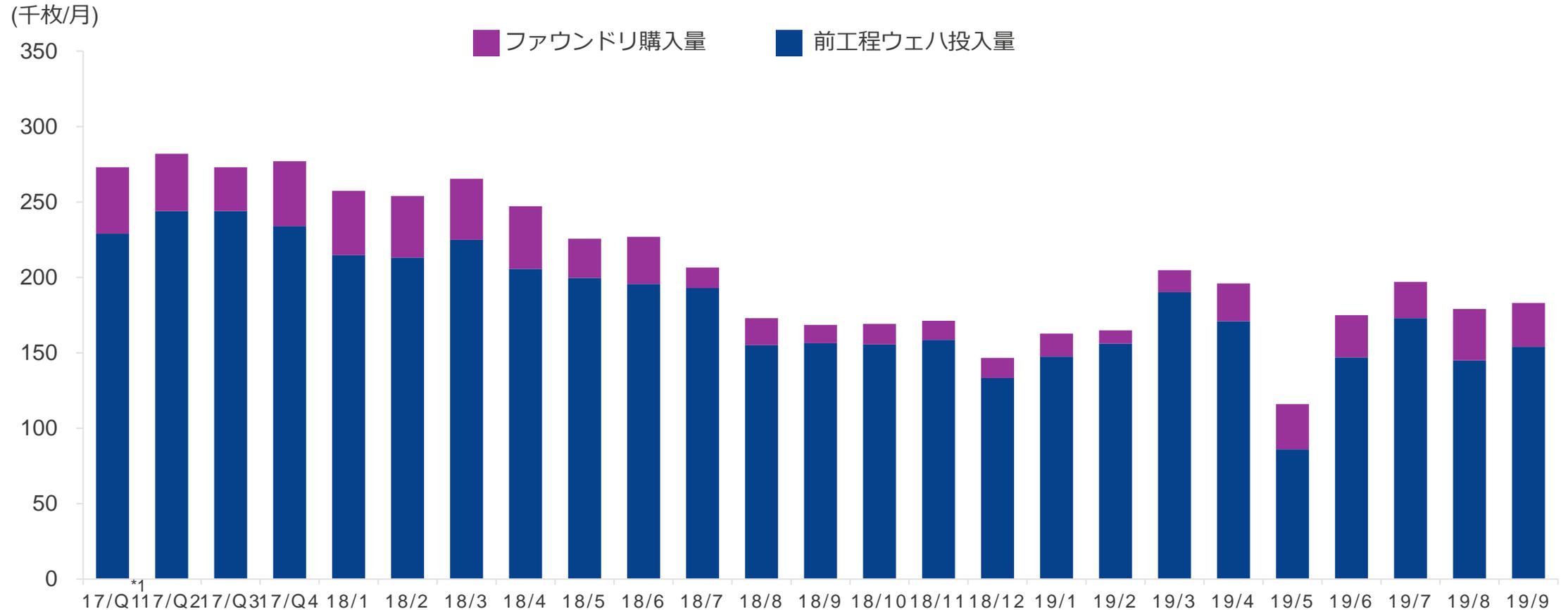
販売チャネル在庫^{*1}(分野別)



販売チャネル在庫(製品別)



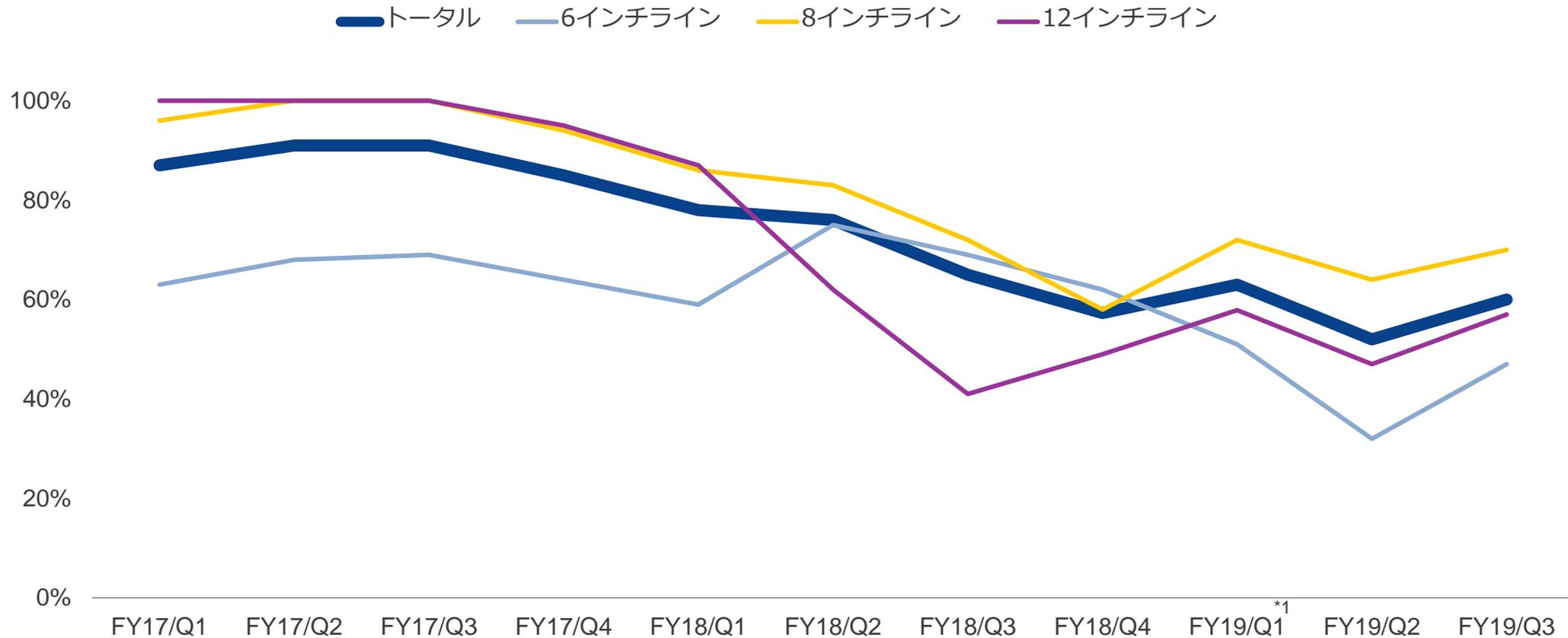
前工程ウェハ投入量およびファウンドリ購入量月別推移 8インチ換算



*1 : FY17は各四半期の月平均ウェハ投入量およびファウンドリ購入量を表示しております。

前工程稼働率四半期推移

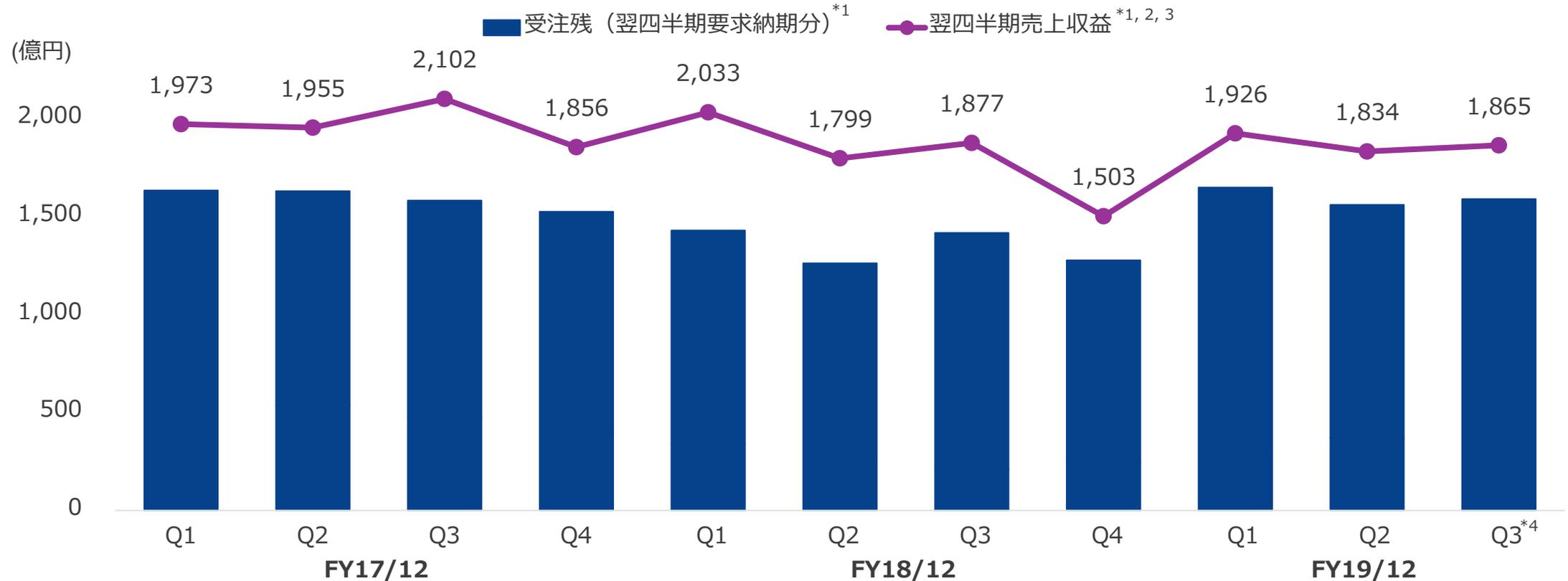
ウェハ投入量ベース



*1: 6インチラインの稼働率は2019年12月期第1四半期決算発表時点（2019年5月14日）から修正しています。

各四半期末の受注残状況と翌四半期売上収益

受注残：翌四半期までの顧客要求納期分



*1：為替レートは、実勢レートで計算しております。

*2：FY17/12の数値はJ-GAAP(Non-GAAP)の翌四半期売上高です。

*3：各四半期の棒グラフの上に、翌四半期の売上収益を折れ線グラフで表示しております。

*4：FY19/12 Q3の翌四半期の売上収益は予想の中間値です。

2019年12月期 第4四半期および通期予想

IFRS、NON-GAAPベース*1*2

売上収益の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期					
	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月) 予想	前年同期比	前四半期比	通期 (1-12月) 予想	前年同期比
売上収益	1,877	7,565	1,834	1,825 ~1,905	-2.8% ~+1.5%	-0.5% ~+3.9%	7,087 ~7,167	-6.3% ~-5.3%
売上総利益率*3	40.5%	44.2%	45.0%	45.0%	+4.5pts	-	43.7%	-0.4pt
営業利益率*3	10.4%	13.8%	14.7%	14.0%	+3.6pts	-0.7pt	12.3%	-1.5pts
1米ドル=	113円	110円	108円	107円	5円 円高	0円 円高	109円	1円 円高
1ユーロ=	130円	131円	121円	118円	12円 円高	3円 円高	122円	9円 円高

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっていません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

APPENDIX

本パートでは、主にGAAP(IFRS基準)準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

セグメント別の売上収益および営業利益

NON-GAAPベース*1

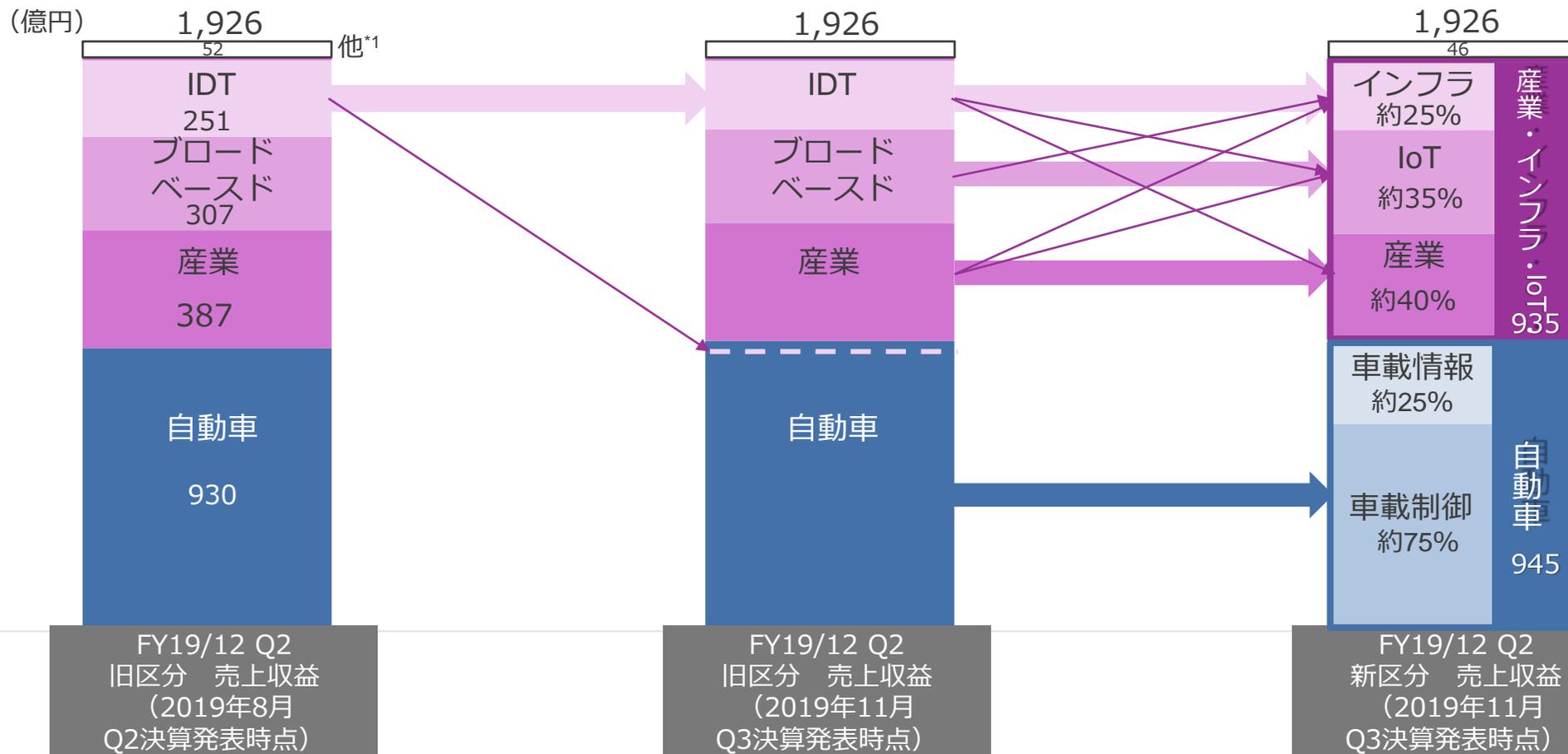
(億円)	2018年12月期					2019年12月期						
	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	9か月累計 (1-9月)	第4四半期 (10-12月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	前年同期比	前四半期比	9か月累計 (1-9月)	前年同期比
売上収益	1,856	2,033	1,799	5,688	1,877	1,503	1,926	1,834	+1.9%	-4.8%	5,262	-7.5%
自動車	904	1,038	936	2,877	1,020	827	945	931	-0.5%	-1.5%	2,704	-6.0%
産業・インフラ・IoT	908	943	810	2,661	805	633	935	859	+6.0%	-8.2%	2,427	-8.8%
その他	44	53	53	150	52	42	46	44	-17.2%	-4.7%	131	-12.5%
営業利益 (率)	301 (16.2%)	330 (16.3%)	215 (12.0%)	846 (14.9%)	194 (10.4%)	72 (4.8%)	274 (14.2%)	269 (14.7%)	+54 (+2.7pts)	-5 (+0.5pt)	615 (11.7%)	-231 (-3.2pts)
自動車	82 (9.1%)	114 (11.0%)	38 (4.1%)	234 (8.1%)	-73 (-7.1%)	10 (1.2%)	68 (7.2%)	102 (10.9%)	+64 (+6.8pts)	+34 (+3.7pts)	180 (6.7%)	-55 (-1.5pts)
産業・インフラ・IoT	216 (23.8%)	263 (27.9%)	169 (20.9%)	648 (24.4%)	162 (20.2%)	58 (9.2%)	196 (20.9%)	159 (18.5%)	-11 (-2.4pts)	-37 (-2.4pts)	412 (17.0%)	-236 (-7.4pts)
その他	2 (5.2%)	7 (12.3%)	1 (2.1%)	10 (6.7%)	8 (16.0%)	4 (9.1%)	5 (11.5%)	9 (20.6%)	+8 (+18.5pts)	4 (+9.1pts)	18 (13.7%)	+8 (+7.1pts)
調整額*2	-	-53	6	-47	97	-	5	-	-6	-5	+5	+52

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けております。

当社売上収益の内訳について（1）

セグメント開示開始に伴い内訳を変更



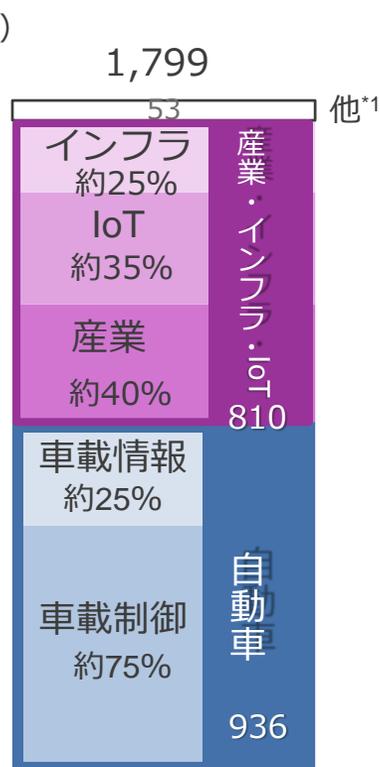
*1: 旧区分では、「その他売上収益」と「その他半導体事業売上収益」を含んでおり、FY19/12 Q2の「半導体売上収益」として、「自動車向け事業売上収益」、「産業向け事業売上収益」、「ブロードベースド向け事業売上収益」を

「その他半導体事業売上収益」の合計として、1,890億円と開示しておりました。ただし、新区分では組織再編に伴い、開示区分を見直し、「半導体売上収益」の開示区分を廃止し、「自動車向け事業売上収益」、「産業・インフラ・IoT向け事業売上収益」、「その他売上収益」にて開示しています。

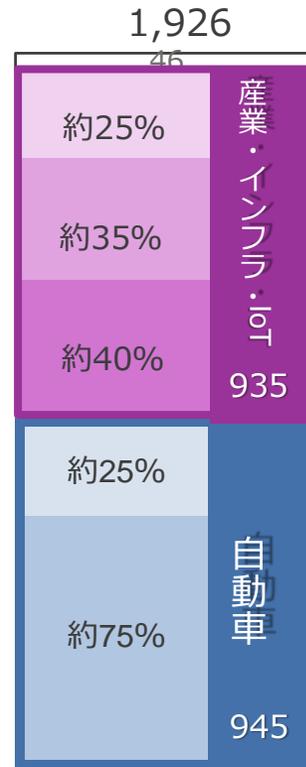
当社売上収益の内訳について (2)

新区分での前年同期比、前四半期比

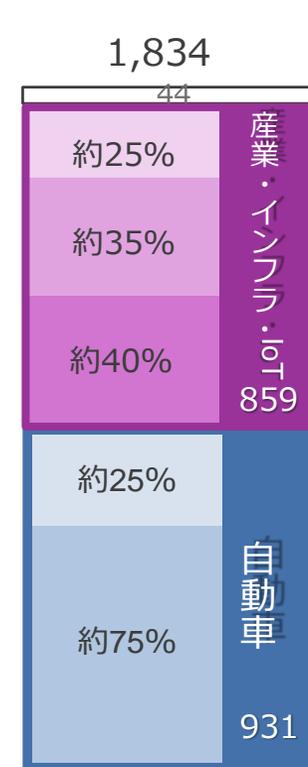
(億円)



FY18/12 Q3
新区分 売上収益



FY19/12 Q2
新区分 売上収益



FY19/12 Q3
新区分 売上収益

YoY: +1.9%
QoQ: -4.8%

YoY: +6.0%
QoQ: -8.2%

YoY: -0.5%
QoQ: -1.5%

GAAP(IFRS)とNON-GAAP間の調整項目

2018年12月期以降*1

- Non-GAAPベース：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPAの見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させております。

(億円)	2018年12月期				2019年12月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上収益(PPA調整後)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503	1,926	1,834
PPA影響(売上収益)	-	-	-	-	-	-	-
売上収益(Non-GAAP)	1,856	2,033	1,799	1,877	1,503	1,926	1,834
売上総利益(GAAP/PPA後)	867	908	789	759	572	754	814
PPA影響(固定資産償却:COGS*2)	+3	+3	+3	+3	+3	+6	+5
PPA影響(無形資産償却:COGS)	-	-	-	-	-	-	-
PPA影響(棚卸資産の時価評価:COGS)	-	-	-	-	-	+113	-
PPA影響(その他:COGS)	-	-	-	-	-	+3	-
株式報酬費用(COGS)	+1	+1	+2	+2	+2	+1	+2
その他調整項目*3(COGS)	+9	+0	-5	-5	+13	-5	-4
その他非経常項目*4(COGS)	-	-	-	-	-	-8	+6
売上総利益(Non-GAAP)	881	913	789	760	590	864	825
売上総利益率(Non-GAAP)(%)	47.5%	44.9%	43.9%	40.5%	39.3%	44.8%	45.0%

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 売上原価 *3: 期間費用を平準化するための調整項目(税金等)が含まれております。 *4: 一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP*1間の調整項目

2018年12月期以降*2

(億円)	2018年12月期				2019年12月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
営業利益 (GAAP/PPA後)	234	328	131	-11	-13	-109	79
売上総利益段階までの調整項目	+14	+5	-0	+0	+19	+110	+10
PPA影響*3 (無形資産償却: SG&A*4)	+41	+37	+38	+39	+38	+142	+138
PPA影響 (固定資産償却: R&D*5)	+1	+1	+1	+1	+1	+1	+1
PPA影響 (固定資産償却: SG&A)	+0	+0	+0	+0	+0	+0	+0
PPA影響 (その他: SG&A、その他の費用)	-	-	-	-	-	+1	-
株式報酬費用 (R&D)	+3	+5	+5	+5	+4	+12	+17
株式報酬費用 (SG&A)	+8	+8	+7	+7	+10	+15	+17
その他の調整項目*6 (R&D)	+1	-0	-0	-0	+1	-0	-0
その他の調整項目 (SG&A)	-7	-10	-9	+26	-7	-9	-2
その他非経常項目*7 (R&D)	-	-	-	-	-	-8	+0
その他非経常項目 (SG&A、他)	+7	-44	+43	+127	+20	+119	+9
営業利益 (Non-GAAP)	301	330	215	194	72	274	269
営業利益率 (Non-GAAP) (%)	16.2%	16.3%	12.0%	10.4%	4.8%	14.2%	14.7%

*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3: PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPAの見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させております。

*4: 販売費及び一般管理費 *5: 研究開発費

*6: 期間費用を平準化するための調整項目(税金等)が含まれております。 *7: 買収関連費用や株式売出し費用など、一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

GAAP(IFRS)とNON-GAAP*1間の調整項目

2018年12月期以降*2

(億円)	2018年12月期				2019年12月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
四半期利益(GAAP/PPA後)	186	316	118	-109	-18	-93	38
営業利益段階までの調整項目	+67	+3	+84	+205	+85	+383	+190
PPA影響*3 (PPAによる税効果影響)	-	-	-	-	-	-9	-3
純利益調整項目 (Non-GAAP調整による税効果影響)	-1	-6	-4	-24	-	-23	-
四半期利益(Non-GAAP)	252	312	198	72	66	258	225
Non-GAAP EPS*4	15.1	18.7	11.9	4.3	4.0	15.2	13.2

*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

*2 : 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

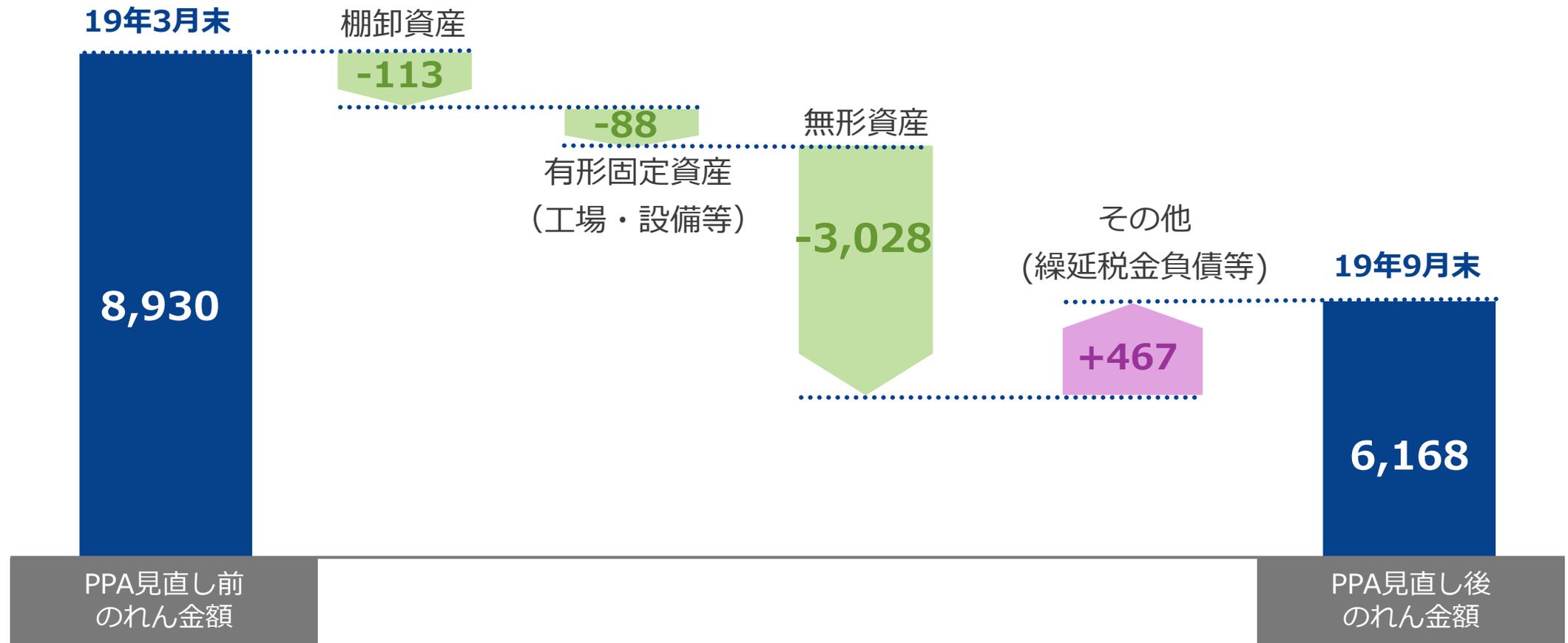
ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*3 : PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPAの見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させております。

*4 : 基本的一株当たり四半期利益

IDT買収に伴うPPA(取得原価の配分)の見直し*1*2によるB/S影響

(億円)



*1: PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPAの見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させております。
 *2: 上記数値につきましては、精査中であるため、今後変動する可能性があります。

IDT買収に伴うPPA(取得原価の配分)の見直し*¹による P/L影響 GAAP (IFRS)

(億円)	2019年12月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期累計
売上高 (PPA調整前)	1,503	1,926	1,834	5,262
PPA影響(売上高)	-	-	-	-
売上高 (PPA調整後)	1,503	1,926	1,834	5,262
売上総利益 (GAAP/PPA前)	572	873	816	2,261
PPA影響 (売上高+COGS* ²)	-	-119	-2	-121
売上総利益 (GAAP/PPA後)	572	754	814	2,140
売上総利益率(GAAP/PPA後) (%)	38.1%	39.1%	44.4%	40.7%
営業利益 (GAAP/PPA前)	-13	116	183	287
PPA影響 (売上高+COGS)	-	-119	-2	-121
PPA影響 (SG & A* ³) 無形資産償却の増加	-	-104	-101	-205
PPA影響 (R&D) 固定資産償却の増加等	-	-0	-0	-1
PPA影響 (SG & A、その他) 固定資産償却の増加等	-	-1	-0	-2
営業利益 (GAAP/PPA後)	-13	-109	79	-42
営業利益率(GAAP/PPA後) (%)	-0.8%	-5.7%	4.3%	-0.8%

*1: PPA(取得原価の配分)の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPAの見直しを行いました。
そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させております。

*2:売上原価

*3:販売費及び一般管理費

2019年12月期 第3四半期決算概要

GAAP (IFRS) *1*2

売上収益の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2018年12月期		2019年12月期					
	第3四半期 (7-9月)	9か月累計 (1-9月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月) 実績	前年同期比	前四半期比	9か月累計 (1-9月) 実績	前年同期比
売上収益	1,799	5,688	1,926	1,834	+1.9%	-4.8%	5,262	-7.5%
売上総利益率	43.9%	45.1%	39.1%	44.4%	+0.5pt	+5.3pts	40.7%	-4.4pts
営業損益(率)	131 (7.3%)	693 (12.2%)	-109 (-5.7%)	79 (4.3%)	-52 (-3.0pts)	+188 (+10.0pts)	-42 (-0.8%)	-735 (-13.0pts)
当期損益	118	620	-93	38	-80	+131	-74	-694
EBITDA*3	413	1,538	298	472	+59	+174	1,051	-488
1米ドル=	111円	110円	111円	108円	3円 円高	3円 円高	110円	-
1ユーロ=	129円	131円	125円	121円	8円 円高	4円 円高	124円	8円 円高

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPA(取得原価の配分)の見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させておりま

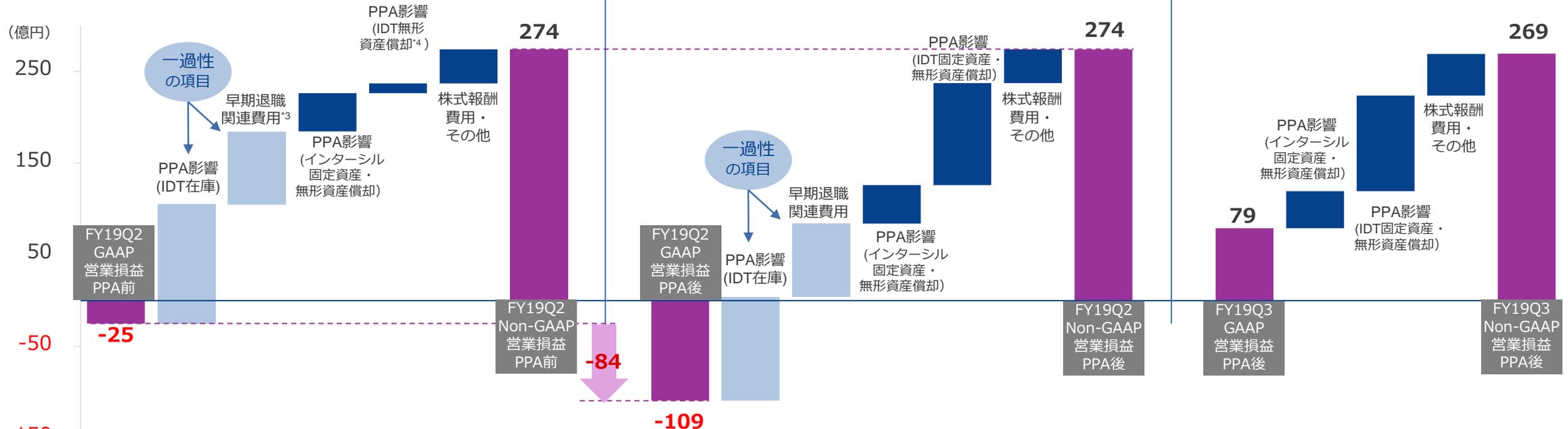
*3: 営業利益+減価償却費及び償却費

2019年12月期 第2四半期および第3四半期 営業損益の変遷

第2四半期 営業損益 PPA*1前 (GAAP → Non-GAAP*2)

第2四半期 営業損益 PPA後 (GAAP → Non-GAAP)

第3四半期 営業損益 PPA後 (GAAP → Non-GAAP)



*1:当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPA(取得原価の配分)の見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させております。
 *2:Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
 *3:早期退職関連費用は早期退職と、早期退職に伴う賞与引当および有給休暇引当の取り崩しのネット金額を表示しております。
 *4:当社のIDT買収完了前にIDTが買収により取得した無形資産の償却を示しております。

バランスシートの状況

IFRS*1*2

(億円)	2018年 3月末	2018年 6月末	2018年 9月末	2018年 12月末	2019年 3月末 ^{*8}	2019年 6月末 ^{*8}	2019年 9月末 ^{*8}
総資産	10,857	11,197	11,253	10,552	18,767	16,977	16,660
うち 現金及び現金同等物 ^{*3}	1,243	1,603	1,845	1,888	1,967	1,165	1,243
うち たな卸資産	1,367	1,355	1,386	1,154	1,281 ^{*9} (IDT連結前1,093)	994	942
うち のれん	1,792	1,865	1,916	1,872	6,343	6,161	6,168
うち 無形資産	1,859	1,834	1,780	1,665	4,780	4,458	4,277
負債合計	5,157	5,040	4,885	4,543	12,387	11,067	10,694
うち 有利子負債 ^{*4}	2,295	2,339	2,312	1,950	9,653	8,527	8,288
資本合計	5,700	6,157	6,368	6,010	6,380	5,911	5,966
D/Eレシオ (グロス)^{*5}	0.40	0.38	0.36	0.33	1.52	1.45	1.40
D/Eレシオ (ネット)^{*6}	0.18	0.11	0.07	0.01	1.21	1.25	1.19
自己資本^{*7} 比率	52.2%	54.7%	56.3%	56.7%	33.8%	34.7%	35.6%

*1: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

*2: 当社グループは、当第3四半期において、2019年3月30日付で完了したIDTとの企業結合について、PPA(取得原価の配分)の見直しを行いました。そのため、2019年12月期の数値はPPAの見直しの内容を反映させておりません。

*3: 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成されております。

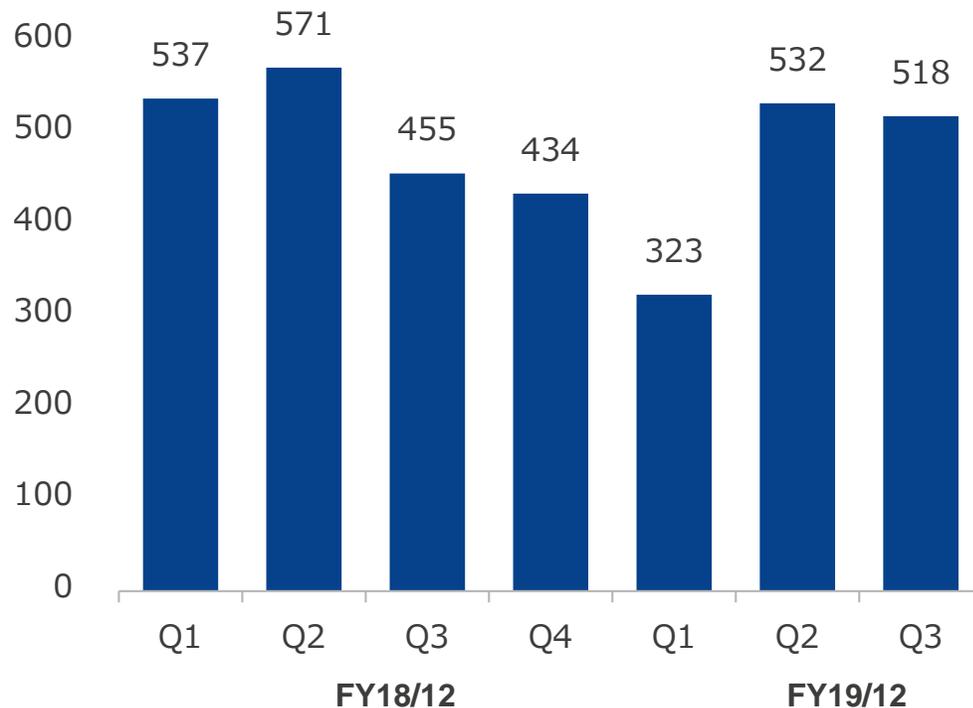
*4: 借入金(流動負債)+借入金(非流動負債)+リース債務(流動負債)+リース債務(非流動負債)+社債の合計

*5: 有利子負債/自己資本 *6: (有利子負債-現金及び現金同等物)/自己資本 *7: 自己資本(親会社の所有者に帰属する持分合計)/負債及び資本合計 *8: IDT連結後の数値

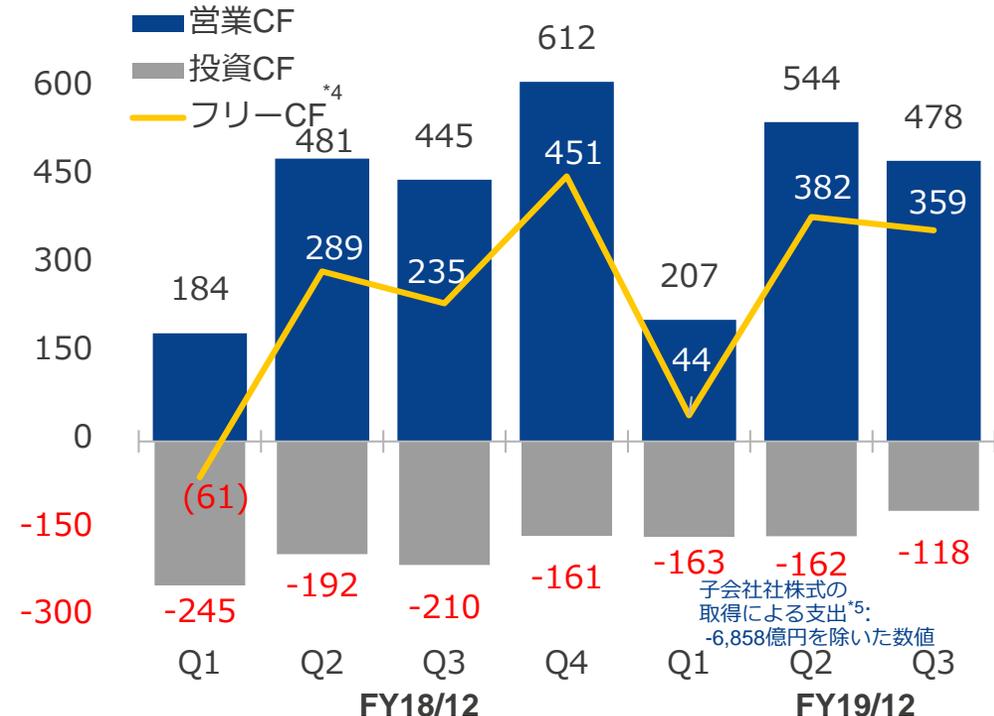
*9: IDT連結前のルネサスの棚卸資産1,093億円+IDTの棚卸資産75億円+PPA(IDTの買取にかかる取得原価の配分)影響(IDTの棚卸資産を公正価値評価)113億円

NON-GAAP*1 EBITDA*2 およびIFRS*3キャッシュ・フローの状況

Non-GAAP EBITDA(億円)

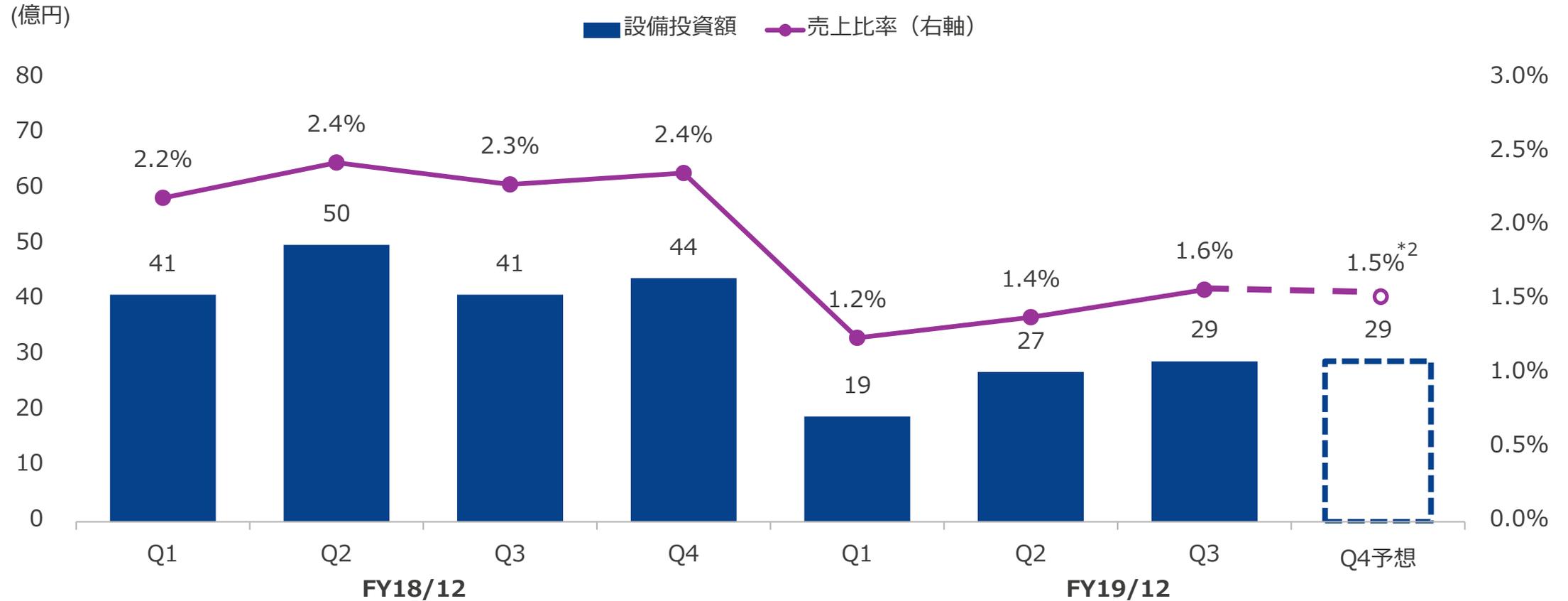


IFRS キャッシュ・フロー(億円)



*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値(GAAP:IFRS基準)から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。 *2: 営業利益+減価償却費及び償却費
*3: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっておりません。ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。
*4: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー *5: IDT株式の取得にかかる支出

設備投資額の状況*1



*1: 有形固定資産および無形資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません

*2: 売上比率は売上収益予想レンジの中央値との対比

2019年7月以降の主な広報発表

経営

- 8月1日付で管理部門を統括部単位の組織に変更するとともに、CFOに新開崇平、CLOにJason Hall、CTOに吉岡真一が就任
- CPUコアなどに加えて、7nmのTCAMやEthernet TSNなど先端プロセスおよび先進規格のIPライセンス販売を拡充

自動車

- 日産の「プロパイロット2.0」に車載用SoC「R-Car」および車載制御用マイコン「RH850」が採用され、同社のスカイラインに搭載
- ルネサスと車載用AIソフト開発のストラドビジョン、次世代のADAS向けスマートカメラ開発で協業
- 250社超が参加する当社の「R-Carコンソーシアム」の新プログラムとして「プロアクティブパートナープログラム」を開始し、戦略パートナーとモビリティシステムの開発容易化
- 自動運転車の大規模展開に向けた「Autonomous Vehicle Computing Consortium (AVCC)」に参画



産業・インフラ・IoT

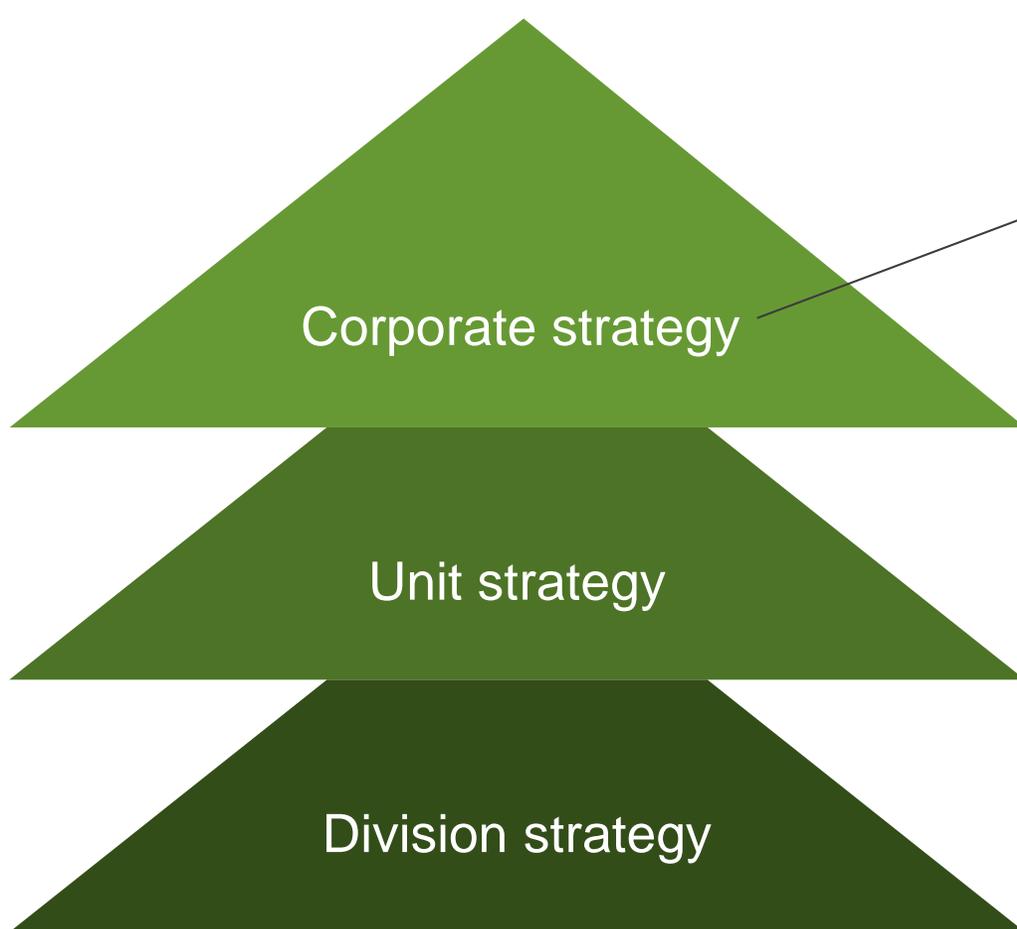
- 産業ネットワークの主要プロトコルに対応し、スレーブ機器開発を短期化する「RX72M産業ネットワークソリューション」の提供を開始
- 次世代IoT機器向けに32ビットマイコンの新ファミリ、Arm Cortex-M搭載「RAファミリ」を発売
- RXマイコンやRAマイコンが、順次Microsoft Azure RTOSをサポート、クラウド接続が容易に
- 超低消費電力のSOTBプロセス技術を採用したエナジーハーベスト用組み込みコントローラを「REファミリ」として、評価キット発売
- セルラーIoTチップセット大手のアルティアとセルラーIoT向けソリューション開発で協業



STRATEGY UPDATE PROGRESS

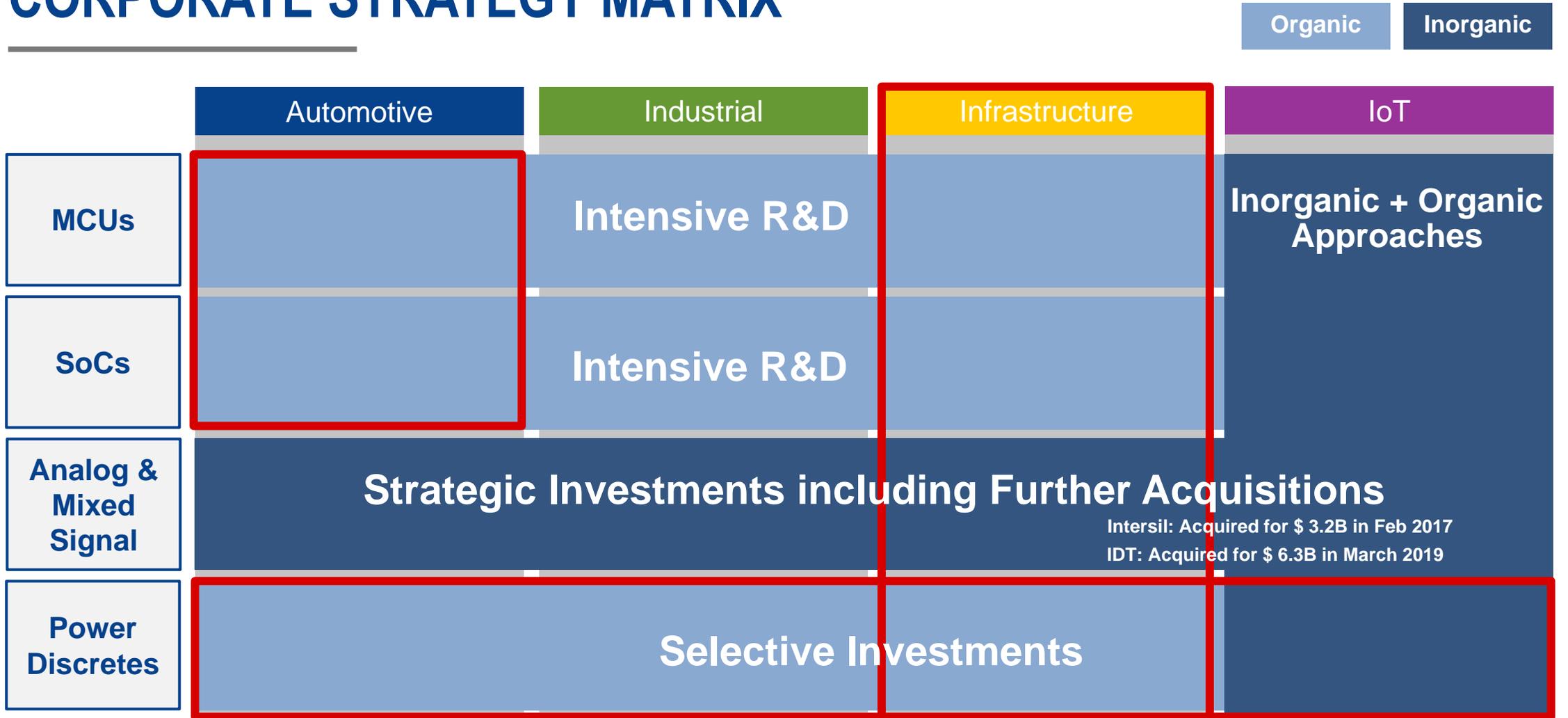
RENESAS ELECTRONICS CORPORATION
NOVEMBER 7, 2019

STRATEGY TREE

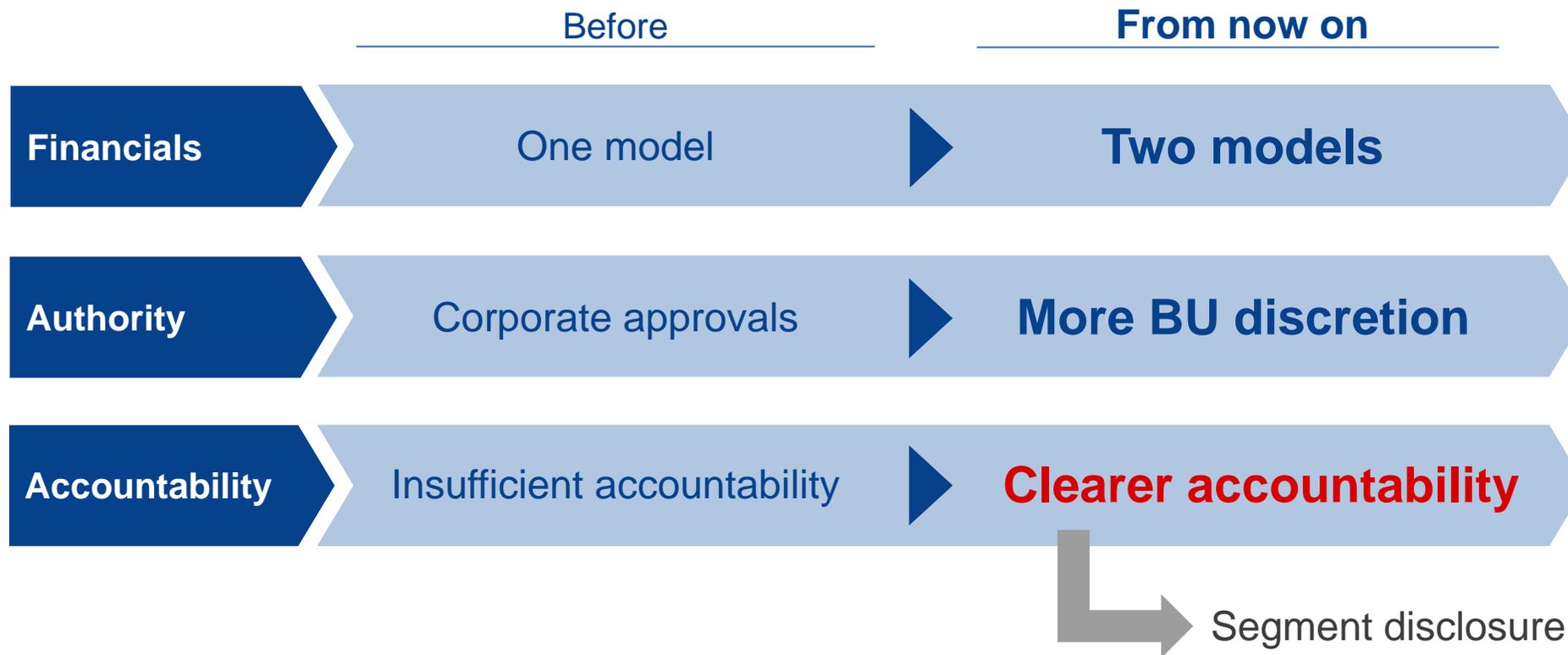


- **Balanced growth through diversification**
- **Diversification:**
 - Product
 - Market
 - People
- **Common thread:**
 - Reliability
 - Stickiness
 - Constant innovation

CORPORATE STRATEGY MATRIX



BUSINESS UNIT AS PROFIT CENTER



BUSINESS UNIT STRATEGY

Automotive Solution Business Unit

Enabling advancement / innovation of mobility

Examples of deep-dive explorations include:

- Radar
- Lidar
- V2X
- Power discrete
- BMS

And more...

IoT and Infrastructure Business Unit

Enabling data-centric economy

Examples of deep-dive explorations include:

- NB-IoT
- RA MCU Family
- Microsoft Azure – IoT partnership
- MRAM
- Industrial automation, SOTB and DRP

And more...

DEEPER

- Sell more technologies to existing customers (solutions and cross selling)

&

BROADER

- Sell to new customers
- Seed new technology to leading and influential customers

V2X: Vehicle-to-Everything, BMS: Battery Management System, NB-IoT: Narrow Band IoT, SOTB: Silicon on Thin Buried Oxide, DRP: Dynamically Reconfigurable Processor

IDT INTEGRATION SYNERGY UPDATE

- ✓ **Integration initiatives progressing on track**

Combined business operations started July 2019, followed by fully consolidated organization to be effective January 2020 (IDT Inc. merges with Renesas America)

- ✓ **Cost savings reaching above target**

Q3 FY19 resulted in +3.6%, Q4 FY19 expected to reach +10.6% above the announced target (e.g. streamlined org, opex reductions, license consolidation, etc.)

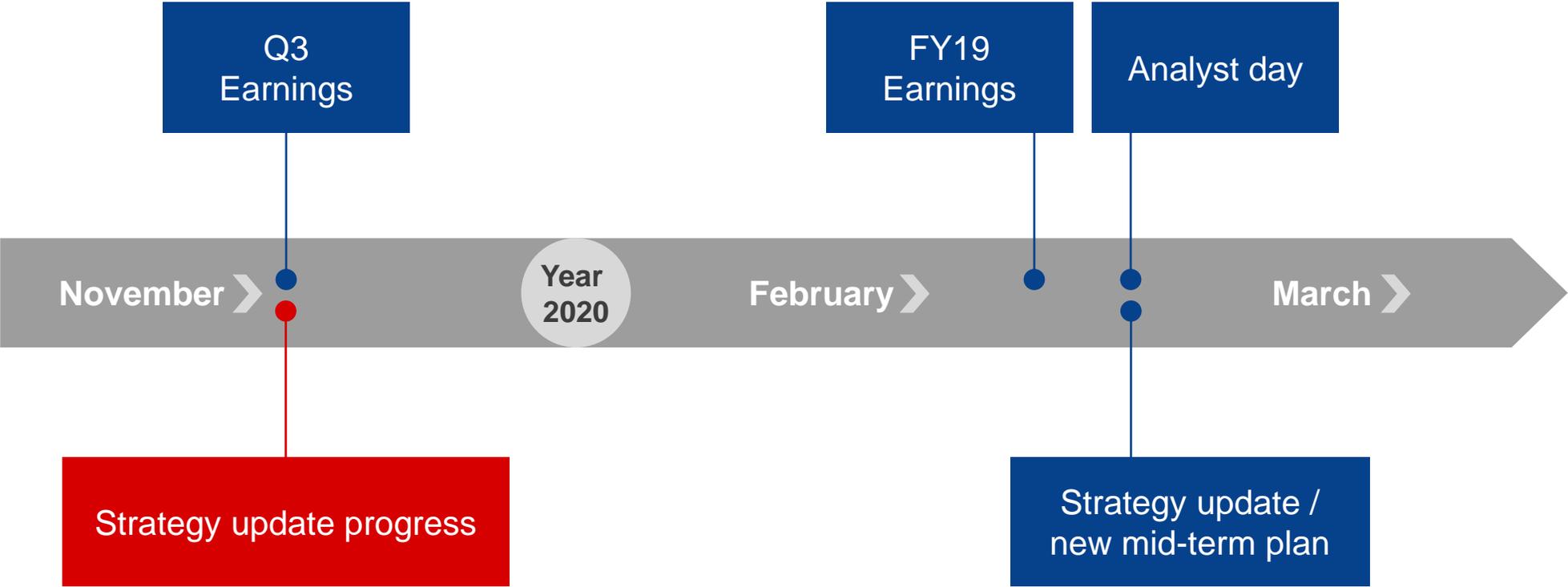
- ✓ **Released 77 Winning Combinations (system solutions) to date**

\$25m designed-in, \$240m 5-year LTV, and 410+ opportunities identified worldwide.
Total of 100 Winning Combinations to be market available by year-end

- ✓ **Other synergy activities including cross sell, new customer acquisition and joint development also on track**



TIMELINE



Renesas.com

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。